

安全・安心な医療環境の整備に関する要望書

日本は、皆保険制度の恩恵によって世界一長寿国となりましたが、高齢化に伴って休日や夜間に体調が急変し、救急車を呼ぶまで重篤ではないが、安心のため医師の診察を受けたいケースが多くあります。また、子どもは、夜間に急な高熱で保護者も心配になり、一刻も早く小児科に受診させたいと、小児夜間救急診療を利用される方も多くおり、本来は、二次・三次救急患者のための夜間救急診療が、軽症患者の診察に追われる現状があります。

本市は、平成三十年四月に中核市への移行を目指しており、保健所の運営においても権限が譲渡される予定であり、中核市としての市民サービスの向上が求められてまいります。現在、中核市移行に伴って様々な事務事業の準備を行っている最中ではありますが、更なる安全・安心な医療環境の整備のために左記のように取り組まれることを要望いたします。

記

中核市移行時に、保健所の複合施設として「夜間急患診療所」を設置すること。

平成二十七年 三月十一日

公明党川口市議会議員団

川口市長 奥ノ木 信夫 様